

編集後記

一年中でもっとも寒い二月。幼児の頃の私にとって二月は、お正月の特別な空気はすっかり消えうせ、雪でも降ってくれば楽しいのにと、何かを待っている月だった……ような気がするのだが。実際のところはどうかだったのだろう。相馬御風の「春よ来い」（大正十二年）のみよちゃんのように、あたたかい「おんも」に出るのを純朴に夢見ていたのかというと、それにもどうも違和感がある。あれは、歩きはじめのみよちゃんに託した大人の思いだったのか。御風は「良寛Ⅱ童心の人」という伝説を作り出した主要な人物とされる（河原和枝）が、子どもを純な

存在として愛しむまなざしの中には、大人の側のゆきづまりを打開しようとするエゴがあるともいえる。

田中三保子先生の、薬局の待合室での親子へのまなざしには、「荒れる」と報道される児童期の子どものたちをどうにか救いたい、という祈りのようなものを感じた。子どもの立場に立つて考えるということ、大人が子どもへ願いや祈りを抱くこととは本来切り離せないのではないだろうか。そんなエゴと、危ないエゴとを区別するのは難しそうだ。子どもが「春」を待ちのぞむ心は、実のところ大人には測り知れないのだろうし、もしかしたら、一年中季節を問わないものなのかもしれない。
* 本誌へのご意見や、ご投稿希望などは、youjimai@yahoo.co.jpまでお願いいたします。（浜口）

幼児の教育

第一〇五巻 第二号

（二〇〇六年二月号）

定価五五〇円（本体五二四円）

発行 平成十八年二月一日

編集兼発行人 浜口順子

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五二二一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

〒〇三―五三九五―六六一三（営業）

〒〇三―五三九五―六六〇四（編集）

振替 〇〇一九〇―一一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。